

日本を守る！信頼の光と照明の専門メーカー 自社の成長こそが 社会への貢献

湘南工作所

湘南工作所(大田区大森西、照沼
國臣社長、03・3762・2431)
は、昭和25年の創業以来、サーチライトや船舶用照明器具等を製造・販売している照明機器の専門メーカーである。

海上保安庁や防衛省などの官公庁船に搭載しているサーチライトでは、同社は卓越した技術力を活かして常にトップシェアを維持しており、他にもレジャー施設、各地競技施設、各種イベントの看板照明も手掛けている。官公

庁船で使用されている動揺安定式遠隔操作型サーチライトは、船舶の振動を吸収し、常に目標物を照射することが可能なため、夜間の荒天時においても乗組員の操縦、監視の負担軽減に役立っており、平成13年12月に北朝鮮の工作船を海上保安庁船が追尾した際にも、同社のサーチライトが活躍している。また、全国各地の消防署に配備されている救助工作車にも同社の伸縮機能付き照明装置が搭載されるなど、同社の製品は社会の治安維持にも大きく寄

与している。

なぜ同社の製品が官公庁や消防署で採用されるのか？災害現場などの過酷な状況下においては、水、振動、衝撃等に長期間使用に耐え得ることが求められる。同社は、長年積み重ねてきたノウハウにより、耐久性に優れた製品の開発に成功しており、なおかつ納品後も日本全国各地であろうと社員を派遣する充実したサポート体制で対応しているからである。

また、「ランプや反射鏡等の調達する部材についても徹底した検査を実施していることから、調達までに数年費やすこともある。これらの重要な部材で照明機器の性能が決まるため、妥協することとは決して許されない」という同社の揺るぎないこだわりが各方面から信頼されている。

今後は、「省エネ時代のニーズであるLED照明の製品開発や、船舶の燃費を考慮したライトの軽量化など、まだまだやるべきことはたくさんある。今後も時代の



横浜消防局仕様 (SLD-4000U-YSP)



船名判別機能付探照灯 (SPS-320NV)

ニーズを捉え挑戦し続けることが当社の成長につながる。結果として社会へ貢献することになる」と照沼社長は語る。